

パレスチナ/ イスラエルの 紛争を多角的に とらえる

申込不要 - 定員 100名

対象 どなたでも

入場無料

2024.
11.24日

13:30~15:30

※時間は変更となる場合があります

広島国際会議場 ダリア
広島市中区中島町1番5号地下2階

2023年10月以降、パレスチナのガザ地区で虐殺と人道危機が続いています。

ガザは広島市の安佐北区ほどの面積しかない場所ですが、ここで起きている出来事に多くの国々が関わり、世界各地の市民に当事者意識を抱かせています。なぜ・どのようにパレスチナ/イスラエルの問題は世界とつながっているのでしょうか。それぞれの専門分野からの講演を通してこの問題について多角的にとらえ、その背景や世界的なインパクトについて考えたいと思います。

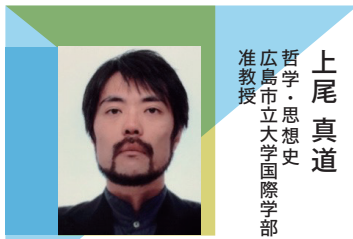
SPEAKERS



講師
コーディネーター
田浪 亜央江
中東アラブ研究
広島市立大学国際学部
准教授

ガザとは何か

国際的な立場や信頼を失墜させるリスクを冒してまで、イスラエルがこの地に拘っているように見えるのはなぜでしょうか。ガザ地区の形成や、パレスチナ・イスラエル双方にとってのガザの意味を考えます。



講師
上尾 真道
哲学・思想史
広島市立大学国際学部
准教授

ヨーロッパ思想史からみたパレスチナ

現在、パレスチナで繰り広げられているイスラエルによる虐殺。その歴史を遡れば、逆説的にも、そこには知性の進歩を掲げた啓蒙的な近代ヨーロッパの歩みとの複雑な関係が垣間見えます。この関係について思想史の観点から考えます。



講師
太田 育子
国際法・国際人権法
広島市立大学国際学部
教授

ガザの人道的危機と国際人道法

ウクライナ侵攻以降、たとえ戦争であっても守らなくてはならないとされてきた国際社会の原理原則や規範が、ないがしろにされ続けています。私たちは「人類の危機」(グテーレス国連事務総長)をくい止められるでしょうか。パレスチナ自治区ガザでの戦闘をめぐる国際司法裁判所(ICJ)や国際刑事裁判所(ICC)の取り組みから考えます。

お問い合わせ

公立大学法人広島市立大学 地域共創センター | TEL : 082-830-1542 E-mail : chi-ren@m.hiroshima-cu.ac.jp
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4-1 | FAX : 082-830-1555 http://www.renkei.hiroshima-cu.ac.jp/

この公開講座は、国際フェスタ2024の事業として開催します。

主催：公益財団法人広島平和文化センター 共催：独立行政法人国際協力機構(JICA) 中国センター、広島市